

4 - 1 研究の概要

(1) 研究主題

主体的に考え、豊かに表現し、共に考えを深める子どもの育成
～「やってみよう」「つないでいこう」が広がる授業づくり～

(2) 研究主題設定の理由と研究仮説

本校では「主体的に考え、豊かに表現し、共に考えを深める子どもの育成～「学びたい」「伝えたい」が広がる授業づくり～」を研究主題に掲げて、児童の主体的な問題解決力や表現力の育成を図ってきた。その結果、ゴールの見通しをもって学び、学習に意欲的に取り組む児童が増えてきた。しかし、児童の実態や授業研究会、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査、その他各種アンケートの結果をもとに考察すると、以下のようなことが課題として上げられる。

①「主体的に学ぶ」力の向上

「共に考えを深める」ためには、自分の考えをもって友達と聴いたり話したりしながら学習活動を進める必要がある。本時や単元のゴールを明確にし、児童が見通しをもって主体的に課題解決していこうとする単元構成の研究を継続することで、自分の考えをもつことができるようになってきている。しかし、最後まで課題解決しようとする意欲にはつながっていない。「その単元っておもしろそう」と思う仕掛けが、うまくいったときには子ども達の目が輝いていた。型にとらわれず、児童が「やってみよう」という課題意識をもてる導入の工夫が必要である。

②「学びをつなげる」力の向上

考えを伝え合うには、自分の考えをもつことが大切である。しかし考えをもてたが自分の考えに自信がなく、友達の意見に左右され自分の意見を変えて発表してしまったり、相手に伝えることができなかつたりする場面があった。また、さらに目的や条件、意図に合わせて説明したり、ICTを活用して表現したりする力も差がみられる。

このような課題から、導入や発問の仕方を工夫し、子どもの振り返りを授業に生かして授業を展開することで主体的に学習に取り組んでいきたい。また教科の指導と生徒指導の一体化をはかり、仲間と安心してつながることで課題を最後まで解決するた学びの「たくましさ」を育てることができるのではないかと考え、本研究主題を設定した。

(3) めざす子どもの姿

- ①主体的に課題を解決しようとする子ども
- ②自分の思いや考えを大切に、相手につたえることができる子ども
- ③学んだことをこれからの生活に生かそうとする子ども

(4) 研究の重点と具体的な手立て

重点 主体的・対話的な学びを促す授業改善

(1) 主体的な学びに向かうための工夫

- 必要感のある課題の設定
- 本時のゴールの明確化
- 見通しをもって学ぶための単元計画
- 振り返りを生かす授業づくり

◎(2) 対話して学ぶ表現の場を工夫した授業展開

- 反応しながら聴く・つなげる発表の意識化
- 目的を明確にした話合いの場の設定
- 考えを引き出し、深める発問や授業形態の工夫
(コーディネート、ヒント、問い返し、たしかめなど)
- 学びの質を高めるためのICTの活用

○(3) つぎにつながる振り返りの充実

- 振り返りの視点の明確化「よ・つ・や・は」
- 学びが実感できる価値付け

学びの基盤作り（継続する取り組み）

- 「学びのきほん」「教えるきほん」に基づいた共通実践
- 朝のスキルタイムの効果的な活用
- 家庭学習の内容の質的向上
- 読書指導・音読指導の工夫
- 全校テスト（国・算）の実施

(5) 研究実践の基本方針

- ①基本的に水曜日を研修日とし、計画的に全体研修、授業研究会、個人研修を進めていく。
- ②「学び合い」の素地となる基礎的・基本的学力を、各教科の中で確実に定着させる。
- ③学団で協力しながら研究授業を行い、お互いに意見を交換したり指導者の助言を受けたりして、それぞれの指導力の向上に努める。
- ④正しい児童理解に基づいた望ましい人間関係形成のため、特別支援教育や生徒指導の研修を組み込んでいく。

(6) 研究の検証方法

- ①県学習状況調査（4～6年生）や単元評価問題
- ②児童及び教師への各種アンケートの結果
- ③授業中や授業後、単元終了後などに行われる評価
- ④視点の焦点化を図った授業研究会の協議と指導主事からの指導講評

4 - 1 (2) 研修計画

月		主な研修内容	諸講習・諸講座・その他	
4	P 計画立案	<ul style="list-style-type: none"> ○研究主題の共通理解 ○共通実践事項・具体的な取組の検討 ○「学びのきほん」「教えるきほん」確認 ○学習環境の整備 ○「学びのきほん・家庭学習の手引き」配布 ○学級経営案の作成 ○各教科研究主題決定 ○全校テストの提案 		
5	P D 第Ⅰ期 授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の研修計画 ○児童アンケートの見直し、実施と集計・分析① ○学年に応じた話型の指導 	1 学校体育担当者連絡協議会 8 安全管理指導者研修会 16 小・中学校新任校長研修講座 21 「確かな学力」向上推進会議Ⅰ	金 教頭 黒澤 熊木
6		◆指導主事計画訪問「道徳」【4梅】(14日)	4・5 小・中学校新任校長研修講座 27 秋田県生徒指導推進会議	黒澤 小松
7			5 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり-知的障害のある児童生徒への「特別の指導」と授業改善 8 性に関する指導」指導者研修会・薬物乱用防止教育研修会 9 実践的指導力向上研修講座	加賀谷 高階 金
8	C 第Ⅰ期 成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○研修報告会 ○第Ⅰ期の成果と課題の把握 ○個人研修 	1・2 小・中学校 総則 新教育課程説明会 算数・数学 外国語・外国語活動 7 特別支援教育コーディネーター 連絡協議会	黒澤 杉井 熊木 高階
9	A 第Ⅱ期 授業 改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆指導主事計画訪問「国語」【3梅】(18日) ○第Ⅱ期の研修計画 ○児童アンケートの実施と集計・分析② 	25 災害安全指導者研修会	千田
10			4 実践的指導力向上研修講座 24 仙教研秋季研究会	金 全員
11		<ul style="list-style-type: none"> ◆指導主事計画訪問「生活」【1梅】(8日) ○基礎学力の定着と向上 		
12	C 第Ⅱ期 成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆指導主事計画訪問「社会」【5梅】(17日) ○県学習状況調査の成果と課題 ○第Ⅱ期の成果と課題の把握 		
1	A 第Ⅲ期 授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○県学習状況調査結果の分析と新たな取組の立案 ○県学習状況調査の結果を受けた授業改善 	24 「確かな学力」向上推進会議Ⅱ	熊木
2	C 第Ⅲ期 成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケートの実施と集計・分析③ ○今年度の研修のまとめ ○次年度の研修の方向付け 		